

企画県土警察常任委員会資料

(平成24年4月20日)

- 1 「とっとり伝統芸能まつり」企画運営実施業務に係る企画
提案の審査結果について 【文化政策課】 . . . 1ページ
- 2 第9回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）の評価結果に
ついて 【文化政策課】 . . . 2ページ
- 3 新生とりアート実行委員会委員の募集結果について
【文化政策課】 . . . 3ページ
- 4 エンジン01文化戦略会議オープンカレッジin鳥取の
開催結果について 【文化政策課】 . . . 6ページ
- 5 第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット
の開催結果について 【交流推進課】 . . . 7ページ
- 6 鳥取県・モンゴル中央県友好交流15周年記念事業の
実施結果について 【交流推進課】 . . . 14ページ
- 7 米子ソウル便、環日本海貨客船航路(旅客)の利用実績等について
【国際観光推進課】 . . . 16ページ
- 8 クルーズ客船「クラブ・ハーモニー」の境港寄港について
【国際観光推進課】 . . . 17ページ
- 9 海外における外国人観光客誘客の実施状況について
【国際観光推進課】 . . . 18ページ
- 10 「コナン列車」特別運行について
【まんが王国官房】 . . . 19ページ

文化観光局

「とっとり伝統芸能まつり」企画運営実施業務に係る企画提案の審査結果について

平成24年4月20日
文化政策課

これまで県が事務局となって開催してきた「とっとり伝統芸能まつり」企画運営実施業務をNPO法人等に委託するにあたり、企画提案審査会を開催し、最優秀提案者を選定しました。

1 「とっとり伝統芸能まつり」の企画提案の概要

- (1) 事業名：とっとり伝統芸能まつり企画運営実施業務委託
- (2) 委託期間：平成24年度から26年度の3ケ年間（債務負担行為）
- (3) 予算額：31,082千円（3ケ年）
- (4) 業務内容：とっとり伝統芸能まつりの企画運営及び実施全般に係る業務

2 審査の概要

- (1) 審査主体：とっとり伝統芸能まつり企画運営実施業務審査会

審査員	所属等
坂田 友宏	鳥取県文化財保護審議会専門委員
八田 孝敏	鳥取県文化振興財団事務局長
原島 知子	新鳥取県史編さん民俗部会委員
松岡 隆広	鳥取県文化観光局文化政策課長
中森 祥	鳥取県教育委員会事務局文化財課係長

- (2) 開催日時及び場所

- ・平成24年4月12日（木）午後3時～午後6時
- ・県庁第2庁舎第23会議室

- (3) 選定方法

あらかじめ提出された企画提案書に基づく提案者からのプレゼンテーションに対して審査を行い、最も高い得点を獲得した者を最優秀提案者として選定する。

- (4) 審査結果

順位	業者名	得点（満点500）
1	NPO法人プロデュース・ハレ	361
2	A	285
3	B	266
4	C	255

- (5) 最優秀提案者に対する審査上の主な意見

- ・本県の伝統芸能についての知見を充分持ち合わせている。
- ・問題点を踏まえた上で、それを解決しながら事業実施を行うプランを提示している。
- ・演出、準備などの経験値も高い。
- ・より具体的な戦略がほしい。

3 今後のスケジュール（平成24年度分）

- ・平成24年4月下旬 最優秀提案者と業務委託契約締結
- ・ 〃 5月中旬～ 実施内容等打ち合わせ
- ・ 〃 8月5日 第3回とっとり伝統芸能まつり開催

第9回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）の評価結果について

平成24年4月20日
文化政策課

第9回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）（平成23年9月1日～12月31日実施）について、評価委員会（植田 丞 座長ほか14名）が事業評価を行い、評価報告書として取りまとめました。

1 実施状況

- 参加人数：40,002人（前年比9,795人の増）。メイン事業の実施、各地区イベントの集客増による。
- 総事業数：294事業〔主催事業145、参加事業149〕（前年比5事業の増）
開催地倉吉市の歴史的題材を取り上げ、本県在住・出身の原作者、演出家、音楽監督および出演者により2年間かけて制作したメイン事業「八賢伝」^{はちけんでん}の実施、ホールや市街地複数箇所におけるジャズ演奏や展示、地元の題材を取り上げた新作ミュージカルの複数回公演を実施した「キラリ☆アートプロジェクト(※)」により観客数が大幅に増加。
※県民から演劇、音楽等の文化芸術の事業企画を公募し、事業実施を委託する事業

2 広報実績

- 県民への情報発信件数：264件（前年比102件の増）
チラシ等の配布、新聞掲載、イベント開催等に加え、ホームページのリニューアル、ケーブルテレビ及びソーシャルメディア等の新たなメディアの活用など広報の充実を図った。

3 観客アンケート

- ・アンケート回収率は10.6%（目標は28.7%）であり、回収率を高める工夫・努力が課題。
- ・観客の満足度は、79.9%で、昨年度に続き80%台に近づいた。「ぜひ鑑賞（参加）したい」「鑑賞（参加）したい」は合わせて90.4%（前年比4.5%の増）と過去3年間で最も高い。

4 事業実施者の自己評価

- ・マネジメント力が大きな課題だが、本番の運営は3.3点（満点4.0）となっており、概して事業は円滑に実施されたと評価。
- ・出演者について、20代以下の割合が昨年度に比べ8.6%減少しており、若年層の参加拡大が課題。

5 評価委員の評価

- ・全体的には、設定された目標・戦略は概ね達成され、レベルも一定担保されて楽しめる事業になっている。
- ・メイン事業は、準備期間を1年間設けたことで一定のレベルを担保し、観客満足度は95%超とかなり高い。
- ・キラリ☆アートプロジェクトの2事業は、課題はあるが目標、戦略はほぼ達成されている。
- ・実行委員会主催事業の鑑賞（参加）者は、男性の参加者が3割を超えたものの女性に比べかなり少なく、また30代未満の参加者も減少している状況であり、「男性と20代の鑑賞者発掘と拡大」は引き続き追求しなければならない課題。
- ・メイン事業をはじめキラリ☆アートプロジェクト、各地区事業で学生の参加があり、教育機関との連携が図られていた。

6 昨年度の課題への対応

- ・アートマネジメント力の育成については、キラリ☆アートプロジェクトで成果を上げ、十分ではないが人材が育ちつつあると評価できる。
- ・足を使った活動不足が指摘された広報については、改善が見られ、ツイッター等新しい広報にも挑戦しており意欲的である。今後も工夫を凝らす必要がある。
- ・内輪的、閉鎖的と指摘された事業については、改善が見られるものもあるが、鑑賞者が楽しめるよう更なる工夫が望まれる。

7 今後の課題

- ・メイン事業の企画内容の決定、テーマ設定やメッセージ性の妥当性等の検討、公表が重要な課題。
- ・地区事業の参加者は限定的であり、もっと明確なテーマ設定が必要。
- ・事業を実施しながら、観客の成長、受け手の育成を意識して追求していくべき。

新生とりアート実行委員会委員の募集結果について

平成24年4月20日
文化政策課

今後の「とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）」のあり方を定めた「とりアート構想」（平成23年11月策定）を受け、以下のとおり委員の公募を行い、団体推薦（マスコミ、学識経験者、教育関係者、行政関係者の場合）も含め、77名の委員に委嘱を行いました。

1 公募の概要

- (1) 公募期間：1月26日（木）～3月9日（金）
- (2) 募集人数：計64名程度（募集は各部会及び各地区委員会毎に行う）
- (3) 応募資格：平成24年4月1日現在で年齢が18歳以上の方で県内在住者または県内企業等に勤務している方
- (4) 募集に係る広報
 - ・県内文化施設、市町村公民館、文化団体、カルチャースクール等への募集チラシの送付
 - ・鳥取県文化振興財団広報誌へのチラシ挟み込み
 - ・新聞広告
 - ・メーリングリストを活用した呼びかけ
 - ・とりアート及び県のホームページ、ツイッター及びフェイスブックによる広報

2 選考の概要

- (1) 選考主体：とりアート実行委員等選考委員会
鳥取県文化振興審議会の委員から、とりアート等の関係者を除き、属性や地域性等に鑑み、選任する。

氏名	所属等	属性	地域	性別
高阪 一治	鳥取大学地域学部附属芸術文化センター教授	学識経験者	東部	男性
坂口 妙子	株式会社山陰放送米子支社長	マスコミ	西部	女性
永井 伸和	今井書店グループ代表取締役会長	出版	西部	男性
細羽 正	鳥取県文化観光局長	行政	東部	男性
宗廣 真澄	ピアニスト、ピアノ教師	文化活動者	中部	女性

(2) 選考方法

- ・各応募者から提出された「応募の動機」の採点により行い、各選考委員の合計点数の上位者の中から採用者を選考する。なお、委員として選考できる基準は、原則として、選考委員の平均採点結果が12点以上（20点満点）の者とする。なお、選考にあたっては、性別や居住地区等のバランスを考慮して行う。
- ・応募者数が委員の予定数を上回る等必要な場合は面接を実施し、採用者を選考する。

3 公募結果

部会名等	公募					団体推薦	合計
	募集人数	応募者数			採用者数		
		第1希望	第2希望	合計			
メイン事業部会	8	15	5	20	8	5	13
人材育成部会	10	3	9	12	10	4	14
広報部会	4	3	5	8	2	3	5
東部地区企画運営委員会	14	10	3	13	10	2	12
中部地区企画運営委員会	14	8	3	11	8	5	13
西部地区企画運営委員会	14	14	2	16	14	6	20
合計	64	53	27	80	52	25	77

- ・実応募者数：53名（うち採用者数：52名、不採用者：1名）
不採用理由：審査の結果、委員として選考できる基準となる点数を満たさなかったため。
- ・新規委員の割合＝62.3%（委嘱委員77名中新規の委員は48名）

とリアート実行委員会委員名簿

(平成24年4月10日現在)

部会	氏名	属性	職業等
メイン事業	岡村 洋次	公募	新日本海新聞社
	小川 真澄		サンミュージックアカデミー米子校
	菊池 ひみこ		フライングビーグルコーポレーション・日乃丸温泉
	小谷 幸久		米子市文化協議会会長
	曾根 現慎		NPO法人ひまわり倶楽部
	計羽 孝之		倉吉市勤労青少年ホーム館長、倉吉文化団体協議会会長
	前田 由文		民生委員
	目次 裕子		ダンススタジオジャム
	野田 邦弘	学識経験者	鳥取大学地域学部 地域文化学科 教授
	生田 文子	教育関係者	鳥取県教育委員会事務局教育次長
	松岡 隆広	行政	鳥取県文化観光局文化政策課長
	佐々木 孝文		鳥取市教育委員会事務局文化財課鳥取城整備推進係係長
	長谷川 秀樹		米子市教育委員会事務局文化課文化振興係長
人材育成	大西 保江	公募	講師業(NHK文化センター等)
	門脇 あや子		山陰ギターコンクール実行委員会事務局
	川口 朋子		ダンスインストラクター
	河村 祐子		ピアノ講師
	須崎 俊雄		鳥取県文化団体連合会会長
	谷口 博義		(株)日本レーシングサービス(BA00鳥取岩美)
	花柳 鮎		日本舞踊家
	松田 晴義		社会福祉法人
	松山 玲子	主婦	
	渡辺 流為	フライングビーグルコーポレーション・夢フェスタ記念合唱団	
	齊木 恭子	学識経験者	鳥取短期大学幼児教育保育学科 教授
松本 清治	教育関係者	鳥取県立倉吉西高等学校校長(鳥取県高等学校文化連盟会長)	
有本 健一		鳥取市立西中学校校長(鳥取県中学校文化連盟会長)	
景山 信子		米子市立啓成小学校校長(鳥取県小学校音楽研究会会長)	
広報	刈込 昌利	公募	自営業
	小谷 寛	マスコミ	(有)亀甲や
	永妻 規		日本放送協会鳥取放送局企画総務部 副部長
	田中 仁成	株式会社新日本海新聞社執行役員 営業局長・メディア企画担当	
	山根 正二	行政	鳥取中部ふるさと広域連合中部発信課長
東部地区	井口 里佳子	公募	ブーランジェリーイフクベ
	井上 拓也		公務員(鳥取市役所)
	井上 千尋		粘土造形講師
	遠藤 晴彦		自営業
	奥田 一仁		鳥取市立馬場児童館
	尾崎 裕崇		アコヤ楽器店
	上萬 雅洋		作曲家
	武村 奈々		鳥取大学
	西尾 春香		リトミック講師
	森田 祐美		ピアノ講師(ゆみ音楽教室)
	川口 耕	マスコミ	株式会社新日本海新聞社
徳高 雄一郎	教育関係者	鳥取県教育委員会事務局東部教育局学校教育係 指導主事	

45	中部地区	赤崎 彰	公募	倉吉打吹太鼓 マネージャー
46		小川 遊		ホテルセントパレス倉吉
47		住吉 裕志		住吉表具店、倉吉アマチュアバンドネットワーク会長
48		高塚 新司		(有)高塚かまぼこ店、ダンスTUBEプロジェクト「鳥取HAKKA」代表
49		谷山 令及		アザレ化粧品・ニッセキ不動産、金澤三絃会、倉吉アマチュアバンドネットワーク
50		花田 智子		主婦
51		山田 衛生		鳥取県合唱連盟理事長、倉吉室内合奏団団長、倉吉ジュニアオーケストラ代表
52		吉田 奈穂美		バレエ講師(リトルバレリーナ主宰)
53		前田 英人	マスコミ	鳥取中央有線放送株式会社制作部 部長
54		中嶋 信行	日本海ケーブルネットワーク株式会社 倉吉放送センター	
55		谷本 真一	行政	倉吉市企画振興部 観光交流課 課長補佐 兼 文化交流係長
56		林原 克幸	琴浦町教育委員会事務局社会教育課 学芸文化係 係長	
57		中田 朱美	教育関係者	鳥取県教育委員会事務局中部教育局学校教育係係長
58	西部地区	大森 圭	公募	(有)大森デザイン室
59		加藤 洋子		米子市文化協議会事務局長
60		萱野 雄一		(株)カヤノ写真機店
61		北垣 聡		NPO法人 親子支援hughug
62		久保田 孝		株式会社DARAZ
63		白枝 伸		建築家
64		田中 国彦		NPO法人夢蔵プロジェクト事務局長
65		寺岡 利雄		米子市啓成公民館
66		中村 由利子		フラワーアレンジメント教室主催
67		判澤 正大		(有)ニューハンザー、NPO法人喜八プロジェクト
68		藤川 知也		海産物のきむらや
69		前田 美德		前田造園
70		森田 茂伸		米子舞台有限会社
71		山上 領太	今井書店グループ今井印刷株式会社	
72		三浦 健吾	マスコミ	株式会社中海テレビ放送 編成部
73		澤田 圭太郎	株式会社新日本海新聞社 西部本社 制作局 報道部	
74		富田 寛	株式会社DARAZコミュニティ放送 代表取締役 社長	
75		船田 めぐみ	教育関係者	鳥取県教育委員会事務局西部教育局 学校教育係 指導主事
76		片寄 佳人	行政	鳥取県西部総合事務所 県民局 企画県民課 主幹
77	松田 暢子	日野町文化センター 所長		

エンジン01文化戦略会議オープンカレッジ in 鳥取の開催結果について

平成24年4月20日

文化政策課

各分野の第一線で活躍する文化人たちで構成する「エンジン01文化戦略会議」のメンバーが鳥取の地を訪れ、3日間に渡って地域の人々との知の交流を行うオープンカレッジを開催しました。

1 来場者数（確定値）

入場者数延べ19,500人、ボランティア等を含めた総参加者数は延べ22,200人とエンジン史上最多の人員を集めた。

月 日	行事名（プログラム数 95）	入場者数	観覧者数	ボランティア数	計		
3/23（金）	オープニングシンポジウム1	1,700	-	200			
	オープニングシンポジウム2	1,600					
	オープニングミニコンサート	2,000					
	ウェルカムパーティー					60	
小 計		5,300	-	260	5,560		
3/24（土）	各種講座（62講座）	9,000	-	500			
	ハローワーク in 鳥取（25講座）	700					
	卓球大会	100					
	インフィオラータ	100				200	20
	ライブコンサート					400	20
	夜楽（25店舗）	1,000				-	150
小 計		10,900	600	690	12,190		
3/25（日）	砂丘駅伝	200	800	150			
	クロージングシンポジウム1	1,400	-	200			
	クロージングシンポジウム2	1,700					
小 計		3,300	800	350	4,450		
合 計		19,500	1,400	1,300	22,200		

2 講師数 145人（内訳）エンジン01会員 133、ゲスト講師 7、地元ゲスト講師 5

3 成果

- ・シンポジウムや講座においては、普段地方では聞くことができない第一線で活躍する著名文化人の話を通して、市民活動へ大きな刺激を与えるとともに、多くの県民に地域の文化創造の意識啓発を図ることができた。
- ・ハローワーク in 鳥取においては、講師の茂木健一郎さんに積極的に質問する受講生が現れるなど、本県の次代を担う中高生に対して、夢と希望を与えることができたことと併せて、目標に向かって突き進むことの素晴らしさを伝えることができた。
- ・夜楽においては、本県が誇る山海の旬の幸や地酒などをエンジン01講師に堪能してもらい、参加した県民とともに「食のみやこととり」を実感いただくことができた。また、料理評論家の山本益博さんと地元料理店とのコラボレーションにより新作メニューを開発し、「食のみやこととり」の発信となった。
- ・鳥取砂丘駅伝においては、エンジン01講師が県民と砂丘のコースを一緒に走ることで、県民とエンジン01のメンバーが直接触れ合い、地元との深いつながりができた。

4 今後の展開

今回の成果を踏まえ、エンジン01文化戦略会議と本県との関係がより強固なものとなり、知の交流が更に推進されるよう地元実行委員会事務局等と連携する。併せて、この取組をさらなる地域文化の創造、発信など、地域活性化につなげるよう取組を進めていく。

【参考】エンジン01大会役員の総括コメント（出典：3/26 日本海新聞記事）

〔和田秀樹大会委員長〕

「街が小さい分、市民の方との距離感が近く、講師の満足度も高かった。呼んでいただけるならば、今後もミニオープンカレッジなどを開きたい。」

〔林真理子実行委員長〕

「温かく迎えていただいた。鳥取と深い縁ができたと思う。」「皆さんの講座を聞く態度が熱心で講師も感心していた。これで終わらず02、03と続けたい。」

第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの開催結果について

平成24年4月20日

交流推進課

鳥取市において開催した「第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の結果は以下のとおりです。

1 サミット本会議（4月4日（火）14:00～17:00／ダイキンアレス青谷「円形教室」）

- (1) 出席者
- | | |
|-------|-----------------------|
| 江 原 道 | 崔文洵（チェ・ムンスン）知事 |
| 吉 林 省 | 王儒林（ワン・ルーリン）省長 |
| 沿海地方 | ロス、アレクサンドル・イヴァノヴィチ副知事 |
| 中 央 県 | ツェデブドルジ・エンフバト知事 |
| 鳥 取 県 | 平井伸治知事 |

(2) テーマ 北東アジア地域発展の鍵「環境・観光・経済」

(3) 会議結果

- 既存路線の維持・発展のほか、海・空・鉄道などの交通網を具体的に進展させていくことで合意した。特に、環日本海定期貨客船航路の継続・発展に合意したことによりバックアップ体制が整い、今後への布石となった。また、ロス副知事からは、ウラジオストク空港と鳥取間の直行便について、専門家が協議する段階に入る旨も言及された。
- 積極的な旅行商品造成、情報発信・相互PRを通じて、素材を活かした観光発展を図っていくことに合意した。また、観光と環境を結びつけたエコツーリズムでの周遊に大きな可能性があるとの認識で一致した。
- 自然環境に関する問題には国境がなく、砂漠化防止、生物多様性保全、気候変動などの環境課題について連携し共同で取り組んでいくことで合意した。
- それぞれの地域の行事を互いに積極的に応援していくほか、多様な分野での交流を進めていくことで合意した。
- 次回サミットは、2013年に沿海地方で開催することで合意した。

2 二地域間会談

(1) 中央県との二地域間会談（4月3日（火）16:30～17:00／知事公邸「第1応接室」）

- エンフバト知事から医療・農業分野での研修生受入などへの謝辞と今後は警察・教育分野などに交流を広げたいとの意向が示され、事務レベルで相談していくこととした。
- エンフバト知事から中央県設立90周年（2013年）への訪問団派遣要請があり、平井知事より鳥取県モンゴル中央県親善協会と相談しながら鳥取県側からも出席する意向が示された。
- 平井知事より国際まんが博、国際マンガサミットへの中央県の参加について要請した。

(2) 吉林省との二地域間会談（4月3日（火）17:00～17:40／知事公邸「第1応接室」）

- 平井知事は、昨年度実施した中国東北地方へのトライアル輸送事業を紹介しながら、吉林省琿春市とロシア・ザルピノ港を結ぶ物流ルートの機能強化の必要性を指摘し、両地域の物流促進を提案した。
- これに対し、王省長は本県と同様の認識である旨を伝え、ルート建設と並行して安定的な貨物量を確保することも重要と指摘し、物流ルートの確立に向け協力していくことを確認した。
- 平井知事より国際まんが博、国際マンガサミットへの参加について要請したところ、王省長より国際マンガサミットに吉林省代表団を派遣する旨発言があった。

- (3) 沿海地方との二地域間会談(4月4日(水) 11:30~12:00/ダイキンアレス青谷「討議室10」)
- ロス副知事から、ミクルシェフスキー知事の来県キャンセルに対する謝辞(ミクルシェフスキー知事からの書簡を手交)と鳥取県が日本のどの自治体よりも文化交流に注力していることに対する謝意が示された。
 - 平井知事から環日本海定期貨客船について「ザルビノ港を活かす方策も考えたい」と提起したところ、ロス副知事からは「同航路のポテンシャルはまだ十分に発揮されていない」との応答があった。
 - 平井知事から国際まんが博への参加を要請した。
 - ロス副知事から、学生交流・学術交流の促進への期待が表明され、太平洋大学ネットワークを構築するという相互単位互換制度に関する教育プロジェクトについて紹介があり、平井知事から大学関係者に話を繋げたいとの意向が示された。
 - ロス副知事から沿海地方での行事について紹介があり、平井知事は2012年5月に開催される「太平洋国際観光展 PITE」に鳥取県として参加する意向を述べた。
 - 平井知事から「共同で鳥取-ウラジオストク間の空路を拓いていきたい」と提起したところ、ロス副知事から「ミクルシェフスキー知事に伝え、全面的なサポートを得るように努力する。具体的な数字を元に話を進めていきたい」との回答があった。

【参考】関連事業

- (1) 経済協議会(4月5日(木) 9:00~12:00/ダイキンアレス青谷「大研修室」)
 - 別紙①参照
- (2) 環境保護機関実務者協議会(4月5日(木) 13:30~17:00/ダイキンアレス青谷「大研修室」)
 - 別紙②参照
- (3) 美術作品展示会(4月5日(木)~8日(日)/鳥取市歴史博物館やまびこ館)
 - 別紙③参照
- (4) 大学教授協議会(4月3日(火) 13:00~16:00/ダイキンアレス青谷「円形教室」)
 - ※主催:鳥取大学
- (5) マスコミ代表者会議(4月4日(水) 10:00~12:00/ダイキンアレス青谷「大研修室」)
 - ※主催:新日本海新聞社

3 全体日程

月 日	サミット団日程	関連事業日程
4月3日 (火)	各地域代表団来県 16:30-17:40 二地域間会談	13:00-16:00 大学教授協議会 16:00-17:00 大学教授協議会幹事会
4月4日 (水)	9:15-12:00 二地域間会談 14:00-17:00 サミット本会議 17:30-18:00 共同記者会見 19:30-21:15 歓迎レセプション(ホルニューオータニ)	10:00-12:00 マスコミ代表者会議
4月5日 (木)	9:30-10:00 美術作品展開幕式(やまびこ館) 10:15-11:00 北東アジア交流記念行事 (久松公園、県庁北側緑地)	9:00-12:00 経済協議会 13:30-17:00 環境実務者協議会
4月6日 (金)	各地域代表団離県(中央県は4月7日に離県)	※中央県知事は、交流15周年記念行事(4月7日/花回廊)に参加

第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット ～咲かせよう北東アジアの交流の花～

共同発表文

日本国鳥取県知事 平井伸治、大韓民国江原道知事 崔文洵、中華人民共和国吉林省長 王儒林、ロシア連邦沿海地方副知事 ロス・アレクサンドル、モンゴル国中央県知事 ツェデブドルジ・エンフバトは、2012年4月4日に鳥取県鳥取市において開催された「第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」において、相互協力及び友好関係に基づき北東アジア地域の共同繁栄のために幅広く意見交換を行い、次の事項について合意した。

- 1 我々は、本サミットが北東アジア地域の交流協力の増進及び共同発展に大きく寄与していることを高く評価するとともに、共同繁栄に向けた実行力の強化とより一層発展した協力体への進化を目指し、効果的な会議運営システムの改善など、相互に協力しながら不断の努力を行う。
- 2 沿海地方ウラジオストク市においてアジア太平洋経済協力会議（APEC）が開催される2012年は、北東アジア地域においてダイヤモンドクインテットを形成する我々サミット参加地域にとっても契機となる年と捉え、貿易・投資における協力を進め、地域内の経済発展に貢献していく。
- 3 各地域は、交通インフラや物流における円滑な手続きの充実に努め、境港－東海－ウラジオストクを結ぶ環日本海定期貨客船や定期航空路線など北東アジア地域における既存路線の維持・発展を協力して推し進めるとともに、新たなルート開発による交通網の拡充を進め、北東アジア地域間の交通ネットワークを発展させていく。
- 4 各地域は、旅行商品の造成を促進する施策、外国人観光客が安心して旅行できる環境づくり、メディア招致を通じたPRなどの外国人観光客誘致に係る広報活動を積極的に実施するとともに、各地域の観光地としての知名度向上に相互協力し、各地域における観光資源の有効活用と地域間の人の往来を活発化させる。また、東日本大震災後に広がった風評被害の払拭と観光交流の強化に各地域が協力して取り組む。
- 5 各地域は、北東アジア地域内の環境保全に対する共同貢献に努めることとし、黄砂砂漠化防止、生物多様性の保全、廃棄物処理問題などの情報交換、合理的かつ有効な資源開発及び利用に対する連携協力を進める。
- 6 上記の経済・観光・環境分野の他、文化・教育・科学・農業・福祉保健・スポーツ分野における交流や青少年交流の活発化のため、各地域が協力して交流基盤の拡大を推進する。

7 各地域で展開されている様々な行催事の国際的な評価を高め、各地域の振興発展につなげるよう、特に次の活動に対して積極的に相互支援を行っていく。

- (1) 鳥取県が進める国際まんが博（2012年8～11月）や国際マンガサミット鳥取大会（2012年11月）など「まんが王国とっとり」建国記念事業への参加及び情報発信、並びに世界ジオパークネットワークに加盟した「山陰海岸ジオパーク」の情報発信
- (2) 江原道が進める「2018平昌冬季オリンピック」開催及び知的障害者のスポーツ活動の底辺拡大と社会的認識の改善のための「2013平昌冬季スペシャルオリンピック」（2013年1月26日～2月6日、平昌・江陵一帯、12日間、133ヶ国参加）の開催
- (3) 吉林省が開催する第8回中国吉林・北東アジア投資貿易博覧会（2012年9月6-11日）及び第2回北東アジア国際青少年芸術祭（2012年8月）への参加及び情報発信
- (4) 沿海地方の太平洋国際観光展示会「PITE」（2012年5月25-27日）、国際映画祭「パシフィック・メリディアン」（2012年9月）及び第6回国際環境フォーラム「国境なき自然」（テーマ：国境を越えた環境問題）への参加
- (5) 中央県エルデネ町の歴史的な場所ツォンジン・ボルドグに所在するテーマパーク「チンギスハーン像」及び「13世紀村」の情報発信

8 次回の第18回サミットは、2013年にロシア連邦沿海地方で開催する。

この共同発表文は、日本語、韓国語、中国語、ロシア語、モンゴル語でそれぞれ作成する。各言語版は同一の効力を持ち、各地方政府が各1部を保管する。

2012年4月4日

日本国鳥取県知事

平井伸治

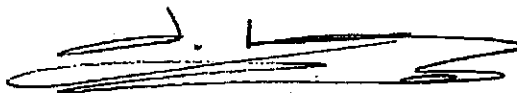
大韓民国江原道知事

최은선

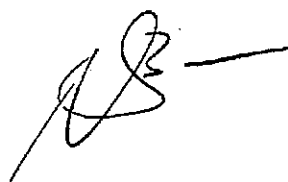
中華人民共和国吉林省長

王德林

ロシア連邦沿海地方副知事



モンゴル国中央県知事



第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット「経済協議会」の開催結果について

平成24年4月20日

通商物流室

第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット関連事業「経済協議会」を下記のとおり開催し、各地域間の貿易・物流活性化の方策及び協力体制などについて意見交換を実施しました。

記

1 経済協議会の概要

時期：平成24年4月5日（木）9：00～12：00

場所：ダイキンアレス青谷（大研修室）

参加者：

韓国江原道	企業支援課長 朴宗勳（パク・ジョンフン） ほか
中国吉林省	吉林省発展改革委員会主任 隋忠誠（スイ・ジョンチョン） ほか
ロシア沿海地方	極東船舶科学研究・計画調査・設計技術研究所長 セミヨニヒン・ヤロスラフ
モンゴル中央県	開発政策部長 ダリ・チョローンバト ほか
鳥取県	県：商工労働部長 岡村整諮 ほか 民間団体：環日本海経済活動促進協議会長 足立統一郎 ほか

議題：各地域間の貿易・物流活性化、各地域間の協力体制

内容：（1）鳥取県の中口国境トライアル輸送の事例紹介

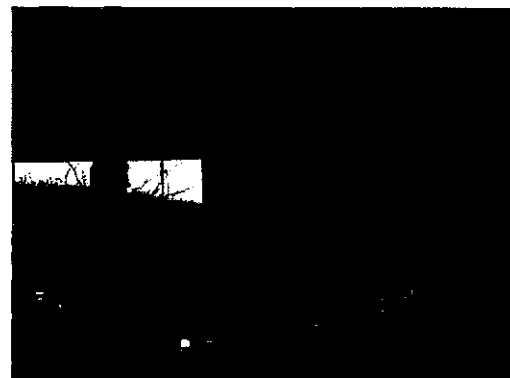
（2）各地域間の貿易・物流活性化のための取組・提案

（3）貿易・物流活性化（課題解決）に向けた各地域間の協力体制

（4）まとめ

2 経済協議会の結果

- ・鳥取県から、環日本海航路を活用したトライアル輸送調査の結果について報告。日本海を経由する効率的な物流ルートの構築及び貨物量の増加には、特に中露国境通過時の通関手続きの簡素化や標準化、物流インフラの整備など、お互いに共通の認識を持ち、各地域でも課題解決に向けた取組みを検討することとなった。
- ・また、上記課題については、中央政府機関や各地域の広域地域に跨る問題でもあることから、経済協議会参加地域が参加することで合意しているGTI（広域図們江開発計画）地方協力委員会などを活用しながら各地域が連携し、解決に向け努力することで一致した。
- ・中小企業の海外展開については、各地方政府が取り組む施策を利用しながら、各地域で支援を行っていくことを確認した。



第5回北東アジア地方政府環境保護機関実務者協議会の結果について

平成24年4月20日
環境立県推進課

「第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の関連事業として、下記のとおり、環境保護機関実務者協議会を開催し、各地域の砂漠化防止・黄砂問題の対応や生物多様性の状況などについて協議しました。

記

1 「第5回北東アジア地方政府環境保護機関実務者協議会」の概要

日時：4月5日（水）13時30～17時

場所：鳥取市青谷「ダイキンアレス青谷」

参加者：

参加地域（国）	役職	氏名
鳥取県（日本）	生活環境部長	中山 貴雄
沿海地方（ロシア）	ロシア科学アカデミー極東支部副支部長兼海洋生物研究所所長	アドリアノフ・アンドレイ
吉林省（中国）	環境保護庁長	王国才（ワン・グオツァイ）
江原道（韓国）	環境政策課長	ムン・ナムス
中央県（モンゴル）	自然環境観光局長	ツェレンダワー・ダシデンベレル

議 事：

- (1) 主題発表：「砂漠化防止・黄砂問題に関すること」「生物多様性に関すること」
- (2) 砂漠化防止・黄砂部会
- (3) その他協議事項：漂流・漂着ごみ、エネルギーに関すること、次回主題テーマなど

2 結果の概要

(1) 主題発表については下表のとおり。

参加地域	発表概要
鳥取県	黄砂問題の最新の知見、対処技術策（灌漑技術や黄砂発生予測等）等の概要 生物多様性に関する対応策（里地・里山の保全、意識啓発の推進）
沿海地方	沿海地方における生物多様性の概要（越境往来による種の攪乱の危険性）
中央県	砂漠化・土地荒廃の現状と防止対策（水源・森林区域及び道路の環境保全）の概要
江原道	黄砂被害防止のための総合対策（飛来予報などの情報提供、発生源での造林活動） 動植物の保全と鳥獣被害への対応策（保存地域の管理や鳥獣被害への補償制度）
吉林省	省内の生物多様性の現状とその施策の概要（自然保護区や生態移民の推進など）

- (2) 砂漠化防止・黄砂部会では、具体的な取り組みに向けて各地域と掘り下げて協議。今後、モンゴル中央県など発生源地域の状況等を確認したうえで、これまで以上に連携を強めて農業支援や人材育成など大学等の技術協力も得ながら、具体的に取り組んでいくことを確認した。
- (3) その他協議として漂流：漂着ごみ、エネルギーに関して、各地域と意見交換し、再生エネルギーの導入や身近に出来る省エネ活動などが重要であるとの認識を確認した。
 次回の協議会では、「海洋地域も含めた生物多様性」「エネルギー等に関すること」について、主題発表を行うことで合意した。

第14回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会概要

平成24年4月20日
文化政策課

1 趣旨

「第14回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会」を「第17回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」と同時開催することにより、今後の各地域間の文化芸術による国際交流を促進する。

2 事業内容

- (1) 名称 第14回北東アジア地方政府サミット美術作品展示会
 (2) 展示期間 平成24年4月5日(木)から8日(日)まで4日間
 (3) 開会式 4月5日(木)午前9時30分から午前10時まで
 (4) 展示場所 鳥取市歴史博物館やまびこ館(鳥取市上町88)
 (5) 主催者 鳥取県
 (6) 参加地域 日本国鳥取県、大韓民国江原道、中華人民共和国吉林省、ロシア連邦沿海地方、モンゴル国中央県
 (7) 出品内容 各地域15点(総数75点)
 伝統画・洋画・写真・書・版画
 (8) 入場者数 約500人

3 過去の開催実績

年度	開催地	開催期間	参加国及び作品数
7	韓国江原道	10.21~10.25(5日間)	4地域 80作品
8	ロシア沿海地方	中止	
9	鳥取県(鳥取市)	8.26~8.31(6日間)	4地域 80作品
10	中国吉林省	8.22~8.27(6日間)	3地域 60作品(ロシア不参加)
11	韓国江原道	10.9~10.15(7日間)	5地域 75作品
12	鳥取県(米子市)	11.7~11.12(6日間)	5地域 75作品
13	ロシア沿海地方	中止	
14	中国吉林省	9.2~9.5(4日間)	4地域 90作品(ロシア不参加)
15	モンゴル中央県	SARSのため中止	
16	モンゴル中央県	財政状況を勘案し中止	
17	韓国江原道	11.8~11.12(5日間)	5地域 75作品
18	中国吉林省	9.1~9.4(4日間)	5地域 100作品
19	鳥取県(境港市)	10.31~11.6(7日間)	5地域 75作品
20	ロシア沿海地方	9.18~20(3日間)	5地域 75作品
21	モンゴル中央県	財政状況を勘案し中止	
22	韓国江原道	5.23~5.28(6日間)	5地域 75作品
23	中国吉林省	9.4~7(4日間)	5地域 100作品



鳥取県・モンゴル中央県友好交流15周年記念事業の実施結果について

平成24年4月20日
交 流 推 進 課

本年、モンゴル中央県との友好交流が15周年を迎えるため、両県の交流の絆をより一層深めるとともに広く県民にモンゴルの文化に親しんでいただくことを目的に、鳥取県で体験型の記念事業を開催しました。

1 友好交流15周年記念事業

(1) 日 時 4月7日(土) (※4月4日の「北東アジア地方政府サミット」に併せて実施)

(2) 場 所 とっとり花回廊

(3) 出席者 中央県：10名

- ・サミット知事団 ツェデブドルジ・エンフバト知事 ほか4名
- ・サミット関連事業団 マスコミ団1名、美術団1名
- ・15周年記念事業団 馬頭琴奏者1名、モンゴル相撲選手2名

鳥取県(来賓)：鳥取県議会 伊藤美都夫議長

鳥取県モンゴル中央県親善協会 河本義永 会長、山本和房 理事 ほか
社団法人 鳥取県栄養士会 鍛冶木いつ子 会長
公立学校法人 鳥取環境大学 河原正彦 副理事長

鳥取県(主催)：平井知事、藤井副知事 ほか

(4) 内 容

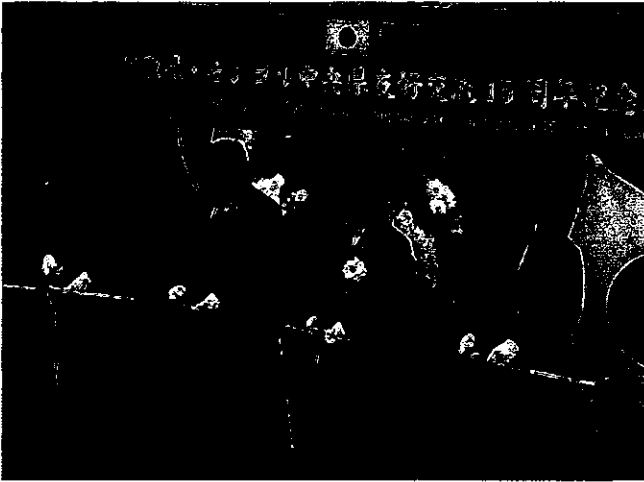
時 間	内 容	会 場	備 考
11:30~12:30	■モンゴル中央県友好交流15周年記念式典 ・平井知事あいさつ ・エンフバト知事あいさつ ・来賓あいさつ(県議会、モンゴル親善協会) ・中央県名誉章授与 (授章者：山本和房、鍛冶木いつ子、河原正彦) ・馬頭琴コンサート ・交流のあゆみ展テープカット	フラワードーム	→テープカット後、あゆみ展を観覧
12:30~	■交流のあゆみパネル・写真展	フラワードーム 内研修室	展示期間： 4/15(日)まで
13:30~16:30	■馬頭琴コンサート公演(3回) ■モンゴル相撲パフォーマンス(2回)	フラワードーム	

(5) 入場者数 約1,000人

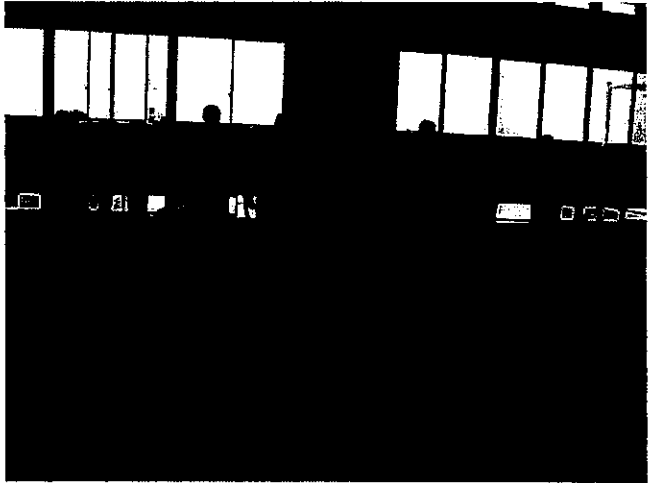
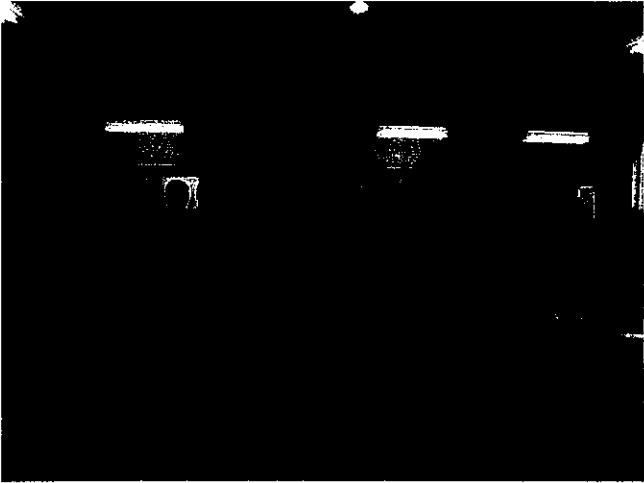
2 参考(モンゴル中央県知事団の滞在日程)

月 日	行 程
4月3日(火)	サミット各地域代表団来日
4日(水)	午後：サミット本会議、共同記者会見 夜：サミット歓迎レセプション
5日(木)	午前：美術作品展開幕式、記念植樹 鳥取城北高校訪問・相撲交流 (※知事団は植樹後に合流) 午後：県内視察(県立中央病院・砂の美術館) 夜：鳥取県モンゴル親善協会主催歓迎会 in モナーク鳥取
6日(金)	終日：県内視察(農業大学校・白壁土蔵群ほか) 夜：県主催友好交流15周年記念レセプション in 望湖楼
7日(土)	友好交流15周年記念事業 in 花回廊
8日(日)	モンゴル代表団帰国

◁写真▷



■ 4 / 7 花回廊での記念式典 (左：交流のあゆみ展テープカット、右：馬頭琴演奏)



■ 4 / 5 城北高校訪問・相撲交流 (白いまわしを付けているのがモンゴル相撲選手)

米子ソウル便、環日本海貨客船航路(旅客)の利用実績等について

平成24年4月20日

国際観光推進課

1. 米子ソウル便の利用実績等

(1) 平成23年度実績

搭乗率57.4% (59.8%)、搭乗者数30,339人 (29,617人) * ()内は前年度実績

- ・国籍別の乗降人数は、日本人21,894人(対前年度比5,756人増加)、韓国人8,051人(対前年度比5,053人減少)、その他394人(対前年度比19人増加)であった。
- ・東日本大震災発生以降、韓国側からの利用(インバウンド)が激減。福島第一原子力発電所事故の風評被害や円高ウォン安による影響が続いており、インバウンドは未だ震災前の水準まで回復していない。
- ・インバウンドが減少していることから、日本側からの利用(アウトバウンド)を中心に利用促進を実施。円高ウォン安を背景に、アウトバウンドは前年度実績を上回る実績で推移した。
- ・機材繰りの関係で搭乗率は前年度を下回ったが、搭乗座席数合計はアウトバウンドが下支えし、前年度を超える実績となった。

(2) 平成24年度第1四半期の利用・予約状況(4月12日現在) * ()内は前年同期実績

4月: 51.1% (45.6%)、5月: 27.1% (22.7%)、6月: 10.9% (10.0%)

- ・4月、5月とも搭乗率は前年同期実績を上回っているが、震災前の水準まで回復していない。

2. 環日本海貨客船航路(境港～東海)の利用実績等

(1) 平成23年度実績

乗客数24,187人 (27,035人)、1便当たり251人 (180人) * ()内は前年度実績

- 【内訳】日本人1,290人/5.3% (1,830人/6.8%)、韓国人20,892人/86.4% (22,027人/81.5%)、ロシア人1,635人/6.8% (2,708人/10.0%)、その他370人/1.5% (470人/1.7%) ※%は構成比
- ・平成22年10月以降の週1便化(それ以前は週2便)に伴い日本人利用者が減少。
 - ・東日本大震災発生直後に韓国人利用者が大幅に減少したが、韓国側の低価格旅行商品販売により利用者が増加し、1便当たりの乗客数は対前年度比71人増加(伸率139.4%)した。

(2) 平成24年4月～6月の予約状況

- ・6月20日までは全便300人超、6月20日以降は400人程度の予約状況となっている。
- ・予約客のほとんどは、韓国人となっている。

3. 外国人県内延べ宿泊者数

平成23年1月～12月実績(出典:観光庁・宿泊旅行統計調査)

総数24,660人 (23,060人、伸率: 106.9%)、全国41位 (43位)

【内訳】韓国13,570人 (14,920人、伸率: 91.0%) * 全国21位 (31位)

台湾 2,620人 (1,990人、伸率: 131.7%)

中国 2,610人 (1,370人、伸率: 190.5%)

ロシア 570人 (630人、伸率: 90.5%)

香港 510人 (430人、伸率: 118.6%)

その他 4,780人 (3,720人、伸率: 128.5%)

* ()内の人数、順位は前年実績

クルーズ客船「クラブ・ハーモニー」の境港寄港について

平成24年4月20日
国際観光推進課
空港港湾課
境港管理組合

韓国のクルーズ客船「クラブ・ハーモニー」が5月24日（木）に初寄港します。

1 「クラブ・ハーモニー」の運行計画

(1) 船の概要

総トン数	25,558トン
船長	174.2m
乗船定員	1,000名

(2) 運航会社

ハーモニークルーズ（株）（韓国）

(3) クルーズツアー概要

韓国人観光客を対象とした4泊5日のクルーズツアー（韓国→日本→韓国）

- ・境港寄港日 5月24日（木）
- ・入出港時刻 入港時刻 9時00分 出港時刻 17時00分

5/23	5/24	5/25	5/26	5/27
釜山	境港	富山	(海)	釜山

(4) 寄港地観光ツアー（オプションツアー）

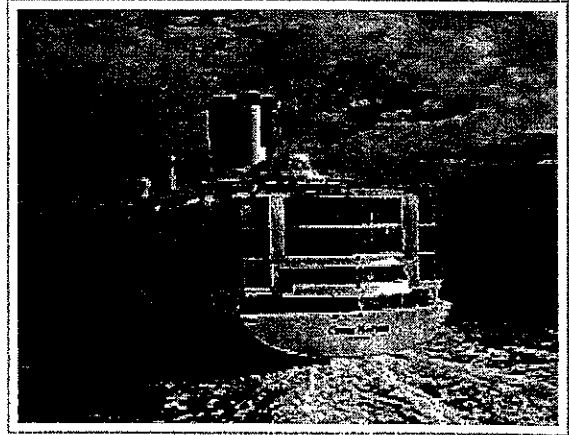
鳥取県方面2ツアー、島根県方面1ツアーを検討中。

(5) その他

- ・「クラブ・ハーモニー」は2月16日に運航開始し、九州主要港・大阪港方面のツアーを実施中。
- ・寄港時に歓迎イベント等を実施。

2 今後の県の対応

- ・年間10回程度の寄港に向けて、引き続き運航会社に働きかけを行う。
- ・県内における観光消費額の増加につなげるため、寄港地観光ツアーのルートに県内の観光地等が数多く組み込まれるようツアー企画会社に働きかけを行う。
- ・クルーズ誘致及び外国人観光客受入に向けた山陰関係者の機運を盛り上げるため、研修会を行う。（5月中を予定）



海外における外国人観光客誘客の実施状況について

平成24年4月20日
国際観光推進課

「国際リゾートとっとり」の実現に向け、「まんが王国とっとり」を重点的に海外プロモーションを実施し、外国人観光客の誘致を図る。

1 まんが王国とっとり

「国際まんが博」「国際マンガサミット鳥取大会」などの各種イベント開催に併せ、外国人観光客の誘致を進めている。

(1) 韓国・台湾市場

① プロモーション等実施状況

韓国、台湾での現地プロモーションを実施（韓国3月20日～21日、台湾1月10日～12日、4月10日～12日）。韓国マンガサミット事務局及び台北市漫画従業人員職業工業会を訪問し、「国際まんが博」「国際マンガサミット鳥取大会」への韓国からのブース出展や韓国・台湾漫画家の作品提供、情報発信等への協力、また、旅行社を訪問し、マンガをテーマとした旅行商品の造成を行うと返答を得た。また、韓国ではジャパンフェスティバル in Korea 会場で一般ソウル市民に対して「まんが王国とっとり」のPRを実施するとともに、マスコミ5社のインタビューによる情報発信を実施した。

② 今後の予定

国際まんが博、国際マンガサミット鳥取大会への作品提供やブース出展、情報発信を進めるため関係機関と調整を行うとともに旅行商品造成に合わせた情報発信を行う。

(2) 中国市場

① プロモーション等実施状況

3月29日に米子鬼太郎空港に就航した春秋航空チャーター便を活用して、3月30日に上海市内でマスコミ関係者を集めて、まんが王国とっとり情報説明会を実施するとともに、3月29日～4月1日に春秋国際旅行社と連携して上海のマスコミ関係者を県内に招請し、情報発信を行った。

② 今後の予定

5月10日～13日に上海市内で開催される上海国際旅遊博覧会に、鳥根県と連携して山陰国際観光協議会としてブース出展して漫画と神話を売り込むとともに、上海市旅遊局、春秋国際旅行社と連携して広報宣伝を行う。

2 スポーツツーリズム

登山、サイクリング、ウォーキング等のスポーツツーリズムの推進に取り組んでおり、サイクリングロードの整備やスポーツ大会の国際化を進めるなど、外国人観光客の誘致を進めている。

(1) 韓国市場

① プロモーション実施状況

3月の韓国現地プロモーションの際に株式会社LSネットワークス李副会長と面談し、鳥根県のスポーツツーリズム推進に積極的に協力する旨の返答を得た。

② 今後の予定

LS社の海外旅行商品販売戦略の第一弾として、鳥根県へのサイクリングツアー商品を本年8月から開始予定。商品造成に向け、現地視察を5月に実施予定。

(2) 台湾市場

① プロモーション実施状況

4月の台湾現地プロモーションの際にジャイアント旅行社を訪問し、旅行商品造成のため広島インアウトのモデルコースを提案して欲しいとの依頼があり、具体的な調整を行っているところ。また台湾サイクリング協会を訪問し、5月20日に開催されるツール・ド・大山への参加に向け旅行社とツアー造成の調整中である旨の返答を得た。

② 今後の予定

 スポーツツーリズムの旅行商品造成のため、ジャイアント旅行社等への情報発信を引き続き行う。

3 中国美食協会

① プロモーション実施状況

3月5日～8日に中国北京で鳥根県的美食・観光説明会を実施、3月21日～24日に美食促進協会とマスコミを招請した結果、4月10日～13日に県内の季節の食材・観光地を織り込んだツアーに中国から19名が参加。

② 今後の予定

 6月下旬に50名規模で第2弾を実施予定。

4 国際クルーズ船誘致

① プロモーション実施状況

3月2日～3日にサン・プリンセス誘致のための視察ツアー実施。2月28日～29日及び4月10日～11日にコスタ・ヴィクトリア誘致のための視察ツアー実施。

② 今後の予定

 5月24日にクラブ・ハーモニー、6月7日にコスタ・ヴィクトリアの境港寄港が決定したが、引き続き海外プロモーションを実施し、国際クルーズ船の誘致を目指す。

「コナン列車」特別運行について

平成24年4月20日
まんが王国官房
未来戦略課

「名探偵コナン」イラスト列車が正式運行するのに先駆け、4月2日に以下のとおり特別号として運行しました。

1 運行概要

- (1) 運行日 平成24年4月2日(月)
- (2) 運行スケジュール 鳥取駅～米子駅間 1往復

2 応募状況等

- (1) 募集人数 100組 200名(鳥取→米子50組100名、米子→鳥取50組100名)
- (2) 応募状況 362組 724名(県外200組、県内162組) 倍率3.6倍
- (3) 当選状況 100組 200名(県外58組、県内42組)

3 イベント概要

- (1) 出発式(鳥取駅・米子駅)
 - 挨拶(知事、JR米子支社長)
 - テープカット(知事、JR米子支社長、鳥取駅長、コナン着ぐるみ、乗客代表のお子様)
 - コナン君による出発合図
 - (米子駅は、西部総合事務所長、JR米子支社次長、米子駅長)
- (2) 由良駅
 - 挨拶(北栄町長)
 - 瀬戸獅子舞披露
 - 由良こども園児歌唱
- (3) 車内イベント
 - コナン君による検札
 - コナン君と記念撮影 等
- (4) 参加者の声等
 - ・コナン列車に乗り青山剛昌ふるさと館を訪れたい。
 - ・コナンと一緒に青山剛昌さんの故郷の魅力を探したい。
 - ・コナン列車はかっこよく、乗っていて楽しかった。コナンは大好き。

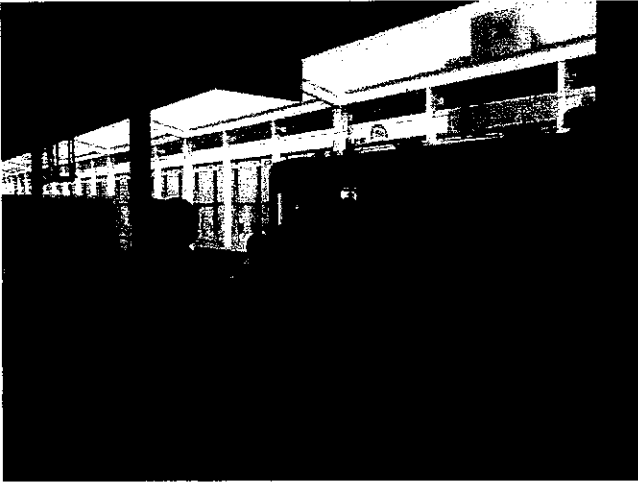
4 今後の展開等

- (1) 「名探偵コナン」イラスト列車の運行情報について、まんが王国とっとりホームページで随時情報発信を行い、幅広く誘客促進を図る。
- (2) 「名探偵コナン」イラスト列車について、鉄道雑誌と連携して鉄道マニアへの情報発信を行い、誘客促進を図る。
- (3) 「名探偵コナン」イラスト列車の運行に合わせ、由良駅を「名探偵コナン」イラストにより装飾(6月末完了予定)。
- (4) 「名探偵コナン」イラスト列車の平成25年度以降の運行継続について、JR等関係機関と協議を行っていく予定。

(参考)

晴天に恵まれ、笑顔あふれる「名探偵コナン列車いちばん乗り！」実施状況

1 出発式 (鳥取駅・米子駅)



(1) テープカット。いよいよ出発です。晴天に恵まれ、楽しい1日のスタートです。



(2) 乗車が待ち遠しい子どもたち。県内外からたくさんのかたにお越しいただきました。

2 車内イベント「コナン君と遊ぼう」



各席をコナン君が訪ねて実施した写真撮影会。コナン君は一日車掌として検札も行いました。

3 由良駅



由良こども園の子どもたち。コナン列車とコナン君に大喜び。旗を振って出迎えました。